

市制施行60周年記念シンボルロゴマーク

本市の市制施行60周年をPRするためのロゴマークを募集したところ、全国から187点の応募をいただきました。一般投票や選考委員会による審査を行い、次のとおり決定しました。

が決定しました!



◆◆最優秀賞◆◆ ※ロゴマークとして採用

児島 満さん(宮崎県宮崎市・51歳)

<作品説明>

特産物である「ぶどう」と60周年の「60」の文字。「60」の「0」の部分に古墳を表し、また人の姿にも見えるように表現。ぶどうの一粒ずつが、羽曳野市民を意味し、自然、歴史、人とのつながりで羽曳野市を表現しています。マークが右上方向に向かって行く様に見えることで、未来に向け躍動する元気な街であることを伝えます。

◆◆優秀賞◆◆

渡邊 大貴さん(東京都調布市・25歳)

濱口 温男さん(高知県高知市・59歳)

◆◆はびきの賞◆◆

※イベント会場での投票による特別賞

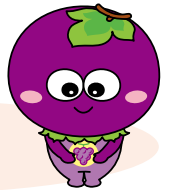
上野 昂星さん(神奈川県川崎市・32歳)

木村 美香さん(羽曳野市・45歳)

居関 孝男さん(京都府京都市・66歳)

優秀賞・はびきの賞の作品は、ウェブサイトで紹介しています。

応募・投票へのご協力ありがとうございました



● ロゴマークを使って、一緒に60周年を盛り上げましょう!
● 市民・企業などの皆様もお使いいただけます。使用にあたっての手続きは、ウェブサイトをご確認ください。

市制施行60周年にむけて

昭和34年に誕生した羽曳野市は、平成31年1月15日に60周年を迎えます。この節目に、本市がこれまで歩んできた道をふり返るとともに、新たな道へと繋げることができるよう、「羽曳野市市制施行60周年記念事業」を実施いたします。

<記念事業のテーマ>

- 先人たちが築き上げてきた歴史・文化を伝え、多くの人に感じてもらう
- 多くの人に参加し、まちの魅力を一緒に創り、磨きをかける
- 60周年を契機に、市内外に本市の魅力を一体的に発信する



<記念事業の目標>

歴史と未来が結ばれ、誇りや愛着、幸せを実感することで、市民一人ひとりとまち全体が、もっとずっと元気になること

<実施期間>

平成30年1月16日～平成31年1月15日

60周年の記念日にむけて、「市制施行60周年記念式典」や「道」をテーマとした「絵画・写真コンテスト」、応募写真とメッセージをウェブサイトに掲載する「みんなでカウントダウン」、市の魅力を発信する「記念動画の制作」などの記念事業を実施します。



市制施行で賑わう羽曳野市の様子(昭和34年1月)

他にも、さまざまな事業を企画中!
詳細は、広報・ウェブサイトなどで随時お知らせします。
みんなで60周年をお祝いし、「もっとずっと元気なはびきの」をつくりましょう!!

問合せ 政策推進課 ☎072-947-3801(直通)